

「ピサン地区精肉加工販売所建設計画」

在エクアドル日本国大使館において、平成26年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ピサン地区精肉加工販売所建設計画」のための、当館とカルチ県による贈与契約署名式が行なわれました。

供与額: 9,650,724円

贈与契約締結日: 2014年11月25日

計画実施前

モントウファル市ラ・パス自治区のピサン地区では、養豚を営む農家が約90戸あるが、養豚農家一戸あたりの飼育数は平均5頭程度と小規模です。地区全体で合計約400頭の肉豚を飼育しており、一週間あたり平均6頭のペースで出荷されています。小規模農家が個別に流通販路を構築することは困難で、出荷される肉豚の7割は仲介業者に生きた状態で買い取られ、残りの3割は、市営の屠殺場にて処理した精肉を地域で直接販売するか、または市場価格よりも安値で仲介業者に売り渡されます。一旦仲介業者に引き渡した後は、生産者は一切収益を得られないため、養豚業が地区住民の主要な生計手段であるにもかかわらず、所得は低いまー一向に改善が見込めず、同地区における経済発展の遅れ及び貧困の主な原因となっています。

本計画は、前述の地区において精肉の流通販路を改善し、小規模養豚農家の所得向上及び安定化のため、ピサン地区会に、新たに精肉加工販売所を建設し機材一式（保存・加工・販売機材、輸送・配達車両など）を整備することにより、地域住民の生活環境の向上に貢献しようとするものです。



署名式

